

[illegible]

何れも油斷なき目の色をた瘵の上に掲げられ、
瘵口を鏡こ掛けられね、見るも無様の姿して、た縁下に引き据ゐられぬ。背後に踞りしは、年若き女中五人、紅の袴、白絹の鉢巻、精悍しき番からげて、男ならは獄卒、女ならは夜叉に齊しき相格なり。
「れ瘵、前へ挂け」
ひゝ取る物も取り敢えず下りました。折悪く御門限、羽翼なき身を悲みある折柄、た使番上君様をらせられ
「さぞ云ふか怪しからぬ奴」と相牛は聞かれ被せかけ「二瓶程では白狀も致しかねえ氣、水にはた食ませう」と相抱けねえ見返りなり。
「まづた待ち遊ばしませ、大様奴は爲

は叱るやうに云ひしが「助八郎無病」
 である上、兄御口上間違ひに極つた、
 恐れたが兄を疑ふ心、ござりませ
 ぬ、殊に父上大病なと思はし事云ひ

酒 鉢 一 體

内務省 産婆 検定病院其他に
 許 許 産 業 家
 略町六十番地
相島しかり

小供入用
 十五歳以下の小供四五名入用
 本町一丁目
 販賣部 電話入商
井出百貨
 電話千三百四十九番

●日本赤十字病院本部看護科卒業

濟生會の資金募集は大に達し、總額百圓の多きに達すべく、又官吏側の三百六十萬圓に上るべき鑑定なりといふ。言へば、なく濟生會の暴たる上陛下の御慈悲に基き起りたるものなれば、本土の富豪又は有名家は勿論、日本帝國臣民に於て餘財あるに於て高倉あらん事を望まざるを得

ものあり蓋し從來の行動進退の跡に
て稽ふれば恰かも著龍の片鱗を雲間
現はすが如く間々政治的野心を漏ら
すことなきに非ず、世説の所謂總督事
の如きは敢て予の問ふところに非ざる
も要するに伯の政治的行動は近き跡
に於て徐ろに見るを得ん乎。

融金するにあつたのみ、而も自ら勿れ横
 取の平準、大坂の鬼橋一疊の融金を以
 て、虚費、街規、閉亡しの爲めに達し結果
 として美事善事ならんには他は問はず
 によし、而して余は一日も早く在鮮内
 地人の融金を留まざるを得ず。
 長いものには覺れざるを得ず、日
 江探本、本公司の安東、賄水、塩、割、問、目
 久しに亘れる未だ解決、件なりしを
 下縣民團との關係上、外に丹、本、司、直、轄、
 下に行ふ事となり、過般、く、満、鐵、會、社、
 の間に、附、屬、地、の、賃、借、條、件、成、立、し、既、に、
 式の調印了したる由なり、同、公、司、
 年の期、終、了、り、察、し、て、其、條、件、通、
 在、を、期、し、定、計、監、査、の、實、行、を、望、み、得、
 年、を、期、し、定、計、監、査、の、實、行、を、望、み、得、

正現明
 煙草を吹かたりして居る、其邊りに
 は、濁つた水を飲み残したタバコもあ
 る、眞瓜の皮も散つて居る眞黒に日
 焦げて腹の膨れた無邪氣な子供も居る
 文明の風は何處を吹くとも知らぬらし
 い彼等の平安を心から羨やましく
 思はずには居られなかつた。

パヅナレ、ゴルキー等の文學や、アド
ストロトル、ソクラチスなんかの哲
學は勿論ない、汽車や、電話や、旅行
機關を著る神祕視して居るだらう、識
者の眼より見た彼等は確に可憐であ
らう、而し人間は斯くあるべきもので
ある、其日其日を喰つて行けは良い、

短夜の思れ者らし池の月
短夜や油のしまぬ枕紙
寐心のよきに短かき夜なり
嫁入の提灯更ける短夜かな

に雲を隔じ如く不思議なるは、身に掛る嫌疑なりき、奥方直々ことありて、詮義の役を中年寄相若江の二人に命ぜられぬ、高井の詮議なれど、事柄が事柄、機密會なれば、澤野國尾二人の權衡爲め、特にこの二人を選まれた

「御意にごりますます」
 「松田、父入病氣の云ひ立て、第一主人を致し仕方、助入殿に健康ぢや」
 「わ、左様の條……」
 「申すな、陳すな、此はどのれ役要れ申し付け、た廣敷役人衆、態々舞舞ひなされた處、一面病氣の体はなく、照覽、私生れて二枚の古漬ふたことござりませぬ」とた察に詞消しく云ひしが「今一體たね、父助入無病の事、異言がござりまするかな」
 「私も目前に見ては無いが、彦彦様を」
 「おと、左様の調へないと思ふか、今も朝役人衆、出馬、委細れ取り調へな



小兒科 專門 診察 時間 午前八時より午後二時及夜間往診
 内科 京城櫻井町 醫學博士 姫野 醫院
 八月より診療開始

外科専門 鈴木外科病院
院長 鈴木謙之助
ワツセルマン氏梅毒有無ノ診斷法ヲ行(六百六號注射器)

來ル八月十五日ヨリ朝鮮銀行法施行相成候ニ就テハ當
銀行ハ同日ヨリ朝鮮銀行ト改稱致候ニ付此段公告候也
明治四十四年八月拾參日

韓國銀行

大阪株式取引所仲買人

長崎商船と新線とを以て骨に
顧客の便宜を計りつゝい
弊店は特に京龍方面に輻
澤商店を取次とし毎日市場
成行前止後止を打電して選
憾なく御報致し居候
相違の羅針盤北治選報を
發行し併せて市場上の意見
御下問次第調査回答仕候
弊店は秘密熱誠敏捷の三大
美を確守仕候

北治株式商店

京福城府山龍榮町
福澤商部

創業明治十四年六月

當店鐵道路改修の爲左記に移轉致候間此段廣告候也

▲京城南大門驛前

移轉廣告

諸機械材料及
直輸入販賣商

中根商會

-153-

京城新報

總督府の官制

總督府の官制は、明治十四年官制改正の時に、大體に改定され、今日に至るまで、大體にその舊體を保持してゐる。然し、今日、國家の政治は、大體に改定され、今日に至るまで、大體にその舊體を保持してゐる。然し、今日、國家の政治は、大體に改定され、今日に至るまで、大體にその舊體を保持してゐる。...

寺内總督伏奏

十日

東京電報

寺内總督は、昨日、天皇陛下に伏奏した。...

上旬の貿易額

本月

上旬の貿易額は、...

英米條約發表

英米

英米條約は、...

條約改正段階

帝國

條約改正の段階は、...

鑛床調査許可

既報

鑛床調査の許可は、...

東拓農事

東拓

東拓農事は、...

水産業の奨励

京畿

水産業の奨励は、...

山縣邸密議

寺内總督

山縣邸に於ける密議は、...

三密議内容

既報

三密議の内容は、...

政局の風雲急

桂公

政局の風雲は、...

通信局收入

通信局

通信局の收入は、...

未廣博士の談

未廣

未廣博士の談は、...

各會社の民團稅

民團稅

各會社の民團稅は、...

鎮南浦人口激増

鎮南浦

鎮南浦の人口は、...

治外法權

治外法權

治外法權は、...

京城手形交換

京城手形

京城手形の交換は、...

京城手形交換

京城手形

京城手形の交換は、...

京城手形交換

京城手形

京城手形の交換は、...

京城手形交換

京城手形

諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候兼業

京城本町三丁目 大塚野村七代理店 田中友吉商店 電話九三二

飲めば 氣持よくなる

消化 胃 腸 健 胃 散

必す懷中せよ 何人も

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

健腦丸

神速を全うす 健腦丸

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

猪飼胃散

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

恩給

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

花柳病 時疾専門

分府 仁川外科毒病院

TRADE MARK SUN RISE

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

齒科診療

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

ボニナニ

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

第一銀行

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

眼科専門

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

義齒術全般

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

分府設置廣告

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

油 膏 上 最

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

京

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

夏物荷着

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

津田兄弟屋

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

八景園

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

酒

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

大發發音器

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

伊藤組

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

牛馬治療所

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

光鳳

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

油 膏 上 最

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

寶味

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

弦流割京

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

高杉

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

定期出帆

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番

秋田商會

代理店 京城本町三丁目 井井藥房 電話九百四十六番